

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和6年12月1日				
コベルプラスジュニア横須賀教室						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・個別療育とは別で集団療育用の部屋を用意している。	今後も、ご利用様が過ごしやすい環境美化に心がけて参ります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6		・集団療育の際には、補助が入れるように対応している。 ・その日の利用人数に応じて職員を配置している。	今後も必要な際に指導員が支援できるようにしていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		・玄関のドアを2箇所施錠している。 ・使用しないものが見えないように布で棚を隠している。	ご利用様が、安心して過ごすことができるような快適な環境を提供し、維持して参ります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・毎朝消毒液を使用し床や棚、ドアノブ、トイレ等を清掃をしている。 ・療育後にその都度掃除機をかけている。	今後もご利用様が安全に過ごすことができる快適な環境を維持し、定期的な点検に努めていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・個別の部屋も用意している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		・子どもの発達に合わせた支援計画を作成し、定期的にモニタリングをしている。 ・職員間で連絡ノートを使い共有している。	引き続き、職員会議などで子どもの様子を共有できるようにしていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・毎年アンケートを実施し、改善につなげている。	アンケートにより保護者様から頂いたご意見をもとに職員間で情報共有し改善に努めています。 また、評価表の実施により事業所としての課題も明確になってくるので、真摯に受け止め、迅速に対応し改善していきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・月に1回の職員会議や毎朝の打ち合わせで情報を共有している。 ・年度末に面談がある。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6		・実施していない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・必要に応じて研修を受けている。 ・本部や外部の研修を受けている。 ・研修後の伝達講習も行っている。	今後も本部の研修に基づいて実施していきます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・本部より決まったプログラムがあり、その内容に沿って取り組んでいる。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		・アセスメント時に確認している。 ・定期的にモニタリングを実施し、個別課題の見直しをして新しい計画を立てている。	アセスメントの際に保護者様のご要望や求めるニーズをしっかりと聞きとり、支援に生かしていきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・職員全員で共有している。 ・その場にいらない職員も会議記録を見て情報を共有している。	今後も職員全員で会議を行ない、支援計画を作成していきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・職員全員で共有している。 ・その場にいらない職員も会議記録を見て情報を共有している。	今後も職員間で情報の共有と確認を行っています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		・常時アセスメントを行い、療育の様子を連絡ノートに記入して子どもの状態を全員で確認している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・職員全員で会議を行い、一人一人の児童に対し、現状を確認している。 ・支援内容は適切に設定されている。	ガイドラインをもとに、お子様の特性や保護者様のご意向、求めるニーズ、アセスメント内容を踏まえて、個別支援計画を作成しています。

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・職員で会議をして決めている。	その都度、よりよい支援方法を議論しながら、様々な活動プログラムが行えるようにしていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・毎月異なる教材を使用し、児童が飽きないよう工夫をしている。 ・決められたプログラムをおこなっている。	今後も、活動プログラム内容が、固定化しないようにしていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		・子どもに必要な課題を確認し、必要に応じて個別療育をすすめている。	今後も職員全員で会議を行ない、支援計画を作成していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・毎朝打ち合わせをし、確認しながら連携して支援をおこなっている。	これからも朝の打ち合わせや連絡ノートで子どもの様子を共有していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	6		・連絡ノートに記入し、職員間でその日の様子を共有している。	連絡ノートを活用し、職員全員で情報を共有していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・日々の様子を連絡ノートに記入し、職員で最善の方法を常に話し合っている。	連絡ノートを活用し、職員全員で情報を共有していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・6か月ごとにモニタリングを実施しているが、必要性のある児童には、6か月を待たずその都度モニタリングをおこなっている。	会議などの時間で職員一人一人の意見を参考にしながら具体的な達成目標や支援内容について、話し合いを行っていきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6		・1人1人の子どもに合わせた支援を職員で話し合い設定している。	今後もガイドラインに基づいた支援をおこなっていきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		・テーマトークやソーシャルスキルトレーニングの時間で、自分の意見や考えを発表できるテーマを設けている。	今後も契約時に丁寧に説明していきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		・児童発達支援管理責任者や指導員が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		・関係機関と連携して支援を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。		6		・情報を共有する準備をしていきたい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		6		・情報を共有する準備をしていきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		6		・対象となる児童がいない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		・療育相談センターと連携して、助言などを受ける機会を設けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		6		・機会を設けていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6		・児童発達支援管理責任者が参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・保護者にも療育の内容を見学していただき、フィードバックの時間で話し合いをしている。	今後も引き続き、ご相談を頂いた際には迅速な対応をしていきたいと思います。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		・月ごとに子育てに役立つ異なるテーマを設定し、ペアレントトレーニングをおこなっている。	これからも毎月異なる様々なテーマを用意していきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		・契約時に丁寧に説明している。	今後も契約時に丁寧に説明していきます。

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		・療育前後やモニタリングの際に時間をかけ保護者とじっくり話す機会を設けている。	今後も引き続き、ご相談を頂いた際には迅速な対応をしていきたいと思います。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		・保護者が理解できるよう、丁寧に支援内容の説明をし同意を得ている。	今後もわかりやすく丁寧に説明していきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・療育前後や電話等保護者からの要望により相談を受け、支援を行っている。	今後も引き続き、ご相談を頂いた際には迅速な対応をしていきたいと思います。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	6			療育の特性上、きょうだい間で交流する機会を設けることは難しいが、保護者間の交流はペアレントトレーニングで実施している。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・療育前後や電話等保護者からの要望により相談を受け、支援を行っている。	今後も引き続き、ご相談を頂いた際には迅速な対応をしていきたいと思います。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		・ブログやLINEを活用し、空き状況や日ごろの児童の活動内容を掲載している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・個人情報の書かれたものは鍵のついた書庫で保管し、取り扱いにも十分注意している。	今後も個人情報の保護には細心の注意を払い、業務を行っていく。 個人が特定できる内容が記載された文書等は、シュレッダー処理をしています。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・来室時に子供や保護者に声をかけている。普段と異なる様子が見られた場合は、詳しく話を聞いている。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		療育の特性上、地域間で交流する機会を設けることは難しい。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		・年2回避難訓練を実施している。	今後もマニュアルに基づいて、確認や訓練などを実施していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・年2回避難訓練を実施している。	今後もマニュアルに基づいて、確認や訓練などを実施していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		・契約時に確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		6		・食事を提供していない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		・定期的に確認している。	今後もマニュアルに基づいて、確認や訓練などを実施していきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		・契約時に説明している。	今後も契約時に丁寧に説明をしていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・職員間で共有している。他教室での事例を参考にしながら、ヒヤリハットが起こらないように検討している。	ヒヤリハットに該当する事例が起こった場合は報告書を作成しています。 職員間で対応策を検討し、再発防止に努めています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・虐待防止マネージャーが中心となり研修に参加し、研修後にその内容を職員に伝達講習している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		・契約時に説明している。	今後も契約時に丁寧に説明をしていきます。